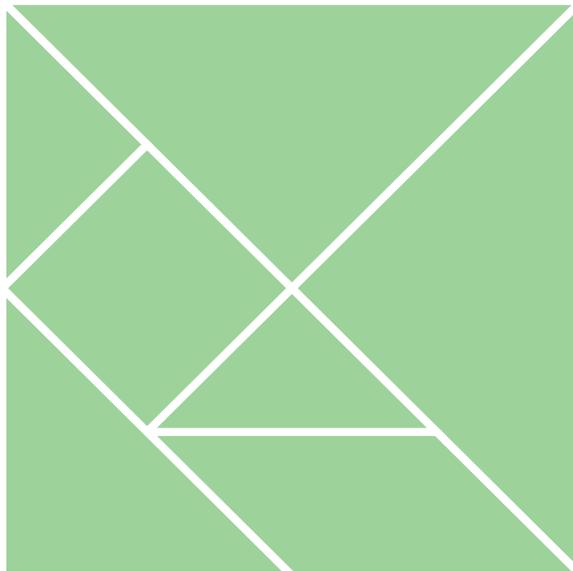


タングラムであそぼう！



正方形をいくつかに切りわけたものを使って、
問題として提示された形を作るパズルをタングラムと言います。

このパズルは中国で生まれたと言われていますが、
起源や名称の由来については詳しく分かっていません。

中国ではこの遊びを「七功板」と呼んでいました。

ヨーロッパでは1800年代の始めから広まり、
「中国のパズル」とか「悩みのたね」と呼ばれていました。

有名なナポレオンがエルバ島に追放されたとき、
「悩みのたね」に熱中したという伝説もあります。

日本には切り分け方が違う「清少納言智恵の板」という
遊びがありました。

江戸時代にはそれについての本が書かれおり、
現在わかっているタングラムについての最古の本と言われてます。



参考文献

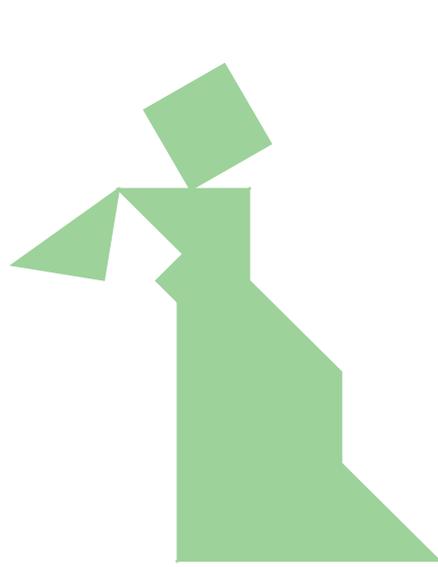
フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』
数学の広場「2次元の世界」 遠山啓著

タングラムであそぼう！

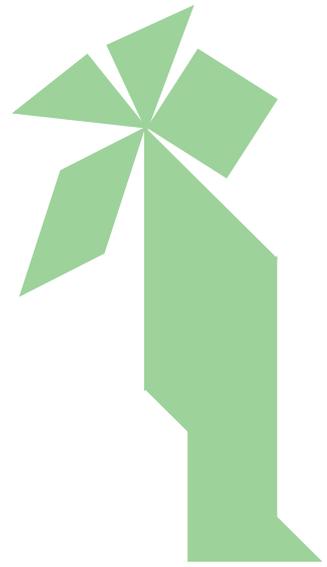
いろいろな形^{かたち}を作^{つく}ってみよう



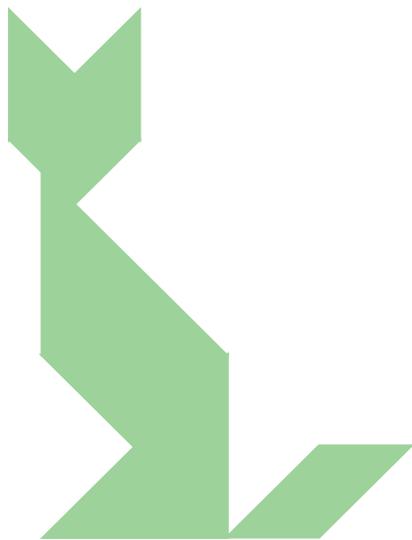
はしこ
走る子ども



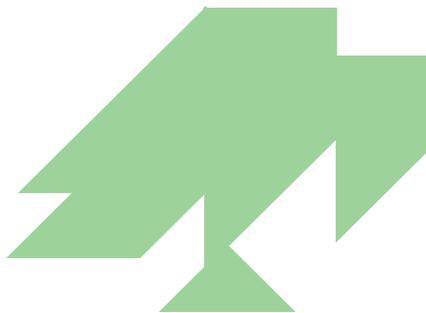
さようなら



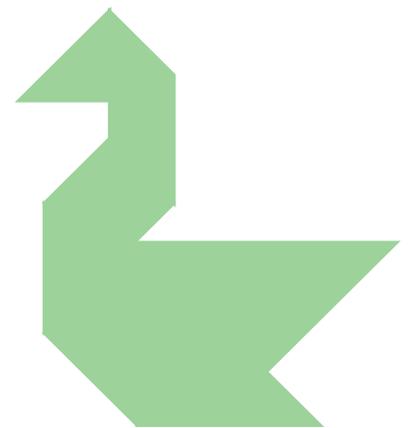
インディアン



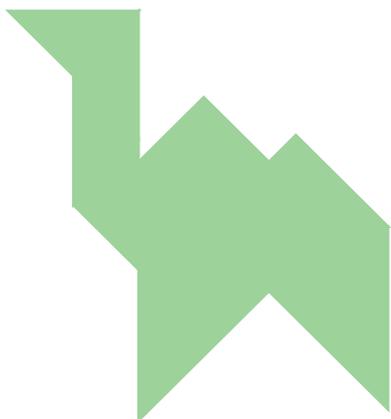
すましたネコ



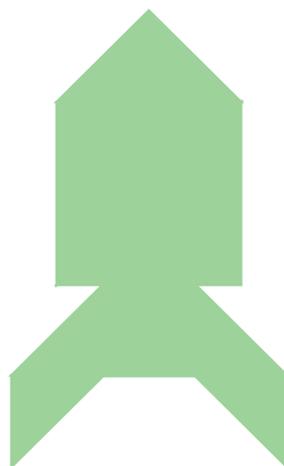
カラスのこ



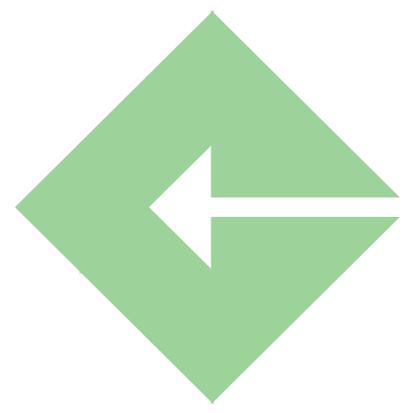
はくちょう
白鳥



ラクダ



ロケット



やじるし
矢印